大野原が初優勝　秩父ＯＰ

惜しくも大沼は四連覇ならず

歴代優勝クラブ

第　１回　上町

～

第　３回　上町

第　４回　大沼

第　５回　大沼

第　６回　月峰

第　７回　諏訪

第　８回　大沼

第　９回　上黒谷

第１０回　大沼

第１１回　大沼

第１２回　大沼

第１３回　大野原

９月１３日（日）

参加チーム数　５５

会場　秩父テラン

優勝：大野原

内田均、磯田ユキエ、大浜光夫

高野審判長　　右

大久保審判員　左

準優勝：大沼Ｂ

黒沢一郎

柳沢正子

小崎秀行

第３位：諏訪Ｅ

山中輝義

大越喜平

吉野光男

編集後記　本年度最初の「秩父ペタンク通信」をお届けいたします。

なお、ネット環境が利用できる状況であれば、「秩父市ペタンク連盟公式ブログ」と検索してみて下さい。

特集コーナーを中心にして、紙媒体とは一味違う秩父市ペタンク界の様子を確認することができます。

今年度も本通信をよろしくお願いいたします。　　広報部　浅見

Vol. 2 2

秩父ペタンク通信

秩父郡市内外のペタンク情報をより多く

九月号　令和二年九月十五日（火）発行
市連盟広報部　（浅見恒夫）

七夕杯は　大沼が連覇！

一挙六点奪取に始まる逆転劇

令和２年７月５日（日）　参加チーム数６３
会場・秩父テラン

歴代優勝クラブ
第１回　大沼
第２回　大沼

今春２月のバレンタイン杯以来久しぶりの大会

県ペタンク・ブール連盟による、表彰
大山様、茂木様（代理出席）、小久保様

長谷川審判長　右
大浜審判員　　左

県内でも今年度最初の大会、様々なコロナ対応

決勝戦・観戦記

４対１と先行したのは、はなみの郷でした。
４メーヌ目、はなみの郷投げ切り状態からビュットを動かした大沼が一挙に６点奪取。
その後８対７となった最終メーヌ。勝負の勢いでいえば、はなみの郷にあったかもしれませんが、ビュット投げに失敗。ビュット権をとった大沼がこれを有効的に活用できる位置に置き、大接戦ゲームを逃げ切りました。

優勝：大滑Ｅ
水戸部忠平、新井文夫、柳沢正子

準優勝：はなみの郷Ａ
大澤信江、吉岡忠司、大澤博

第３位：上黒谷Ａ
大久保まち子、大久保進
宮谷政子

真夏日になったこの日、マスク着用は別の心配もありましたが・・・

ルールアラカルト№６　こんな時、どうする？

まだメーヌ途中。Ｂチームが６球目を投げた段階で**メーヌが終了したと勘違いした**同チームの別の選手がボールをピックアップしてしまいました。しかもあろうことにビュットに一番近いＡチームポイントボールに次ぐＢチームにとっての最重要ボール、Ａチームにはまだ残球あり・・・こんな状況です。
ここで新ルールを正しく理解してないとトラブルになりそうなのが、ピックアップしたボールの扱い。

Ａ　当然取り上げたボールは無効だから、元の位置に戻すことなんてできないのが常識でしょう？
Ｂ　確認しなかったのは申し訳ないが、メーヌ途中なのでボールは元の位置に戻せるんですよね？

こんな時、どうする？